

沖縄海邦銀行

第72期 営業のご報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで
(2019.3 ミニディスクロージャー誌)

70th
Anniversary



OKINAWA
KAIHO

当行の概要 (2019年3月31日現在)

創 立	昭和24年5月1日
設 立	昭和39年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗 (うち出張所2店舗)
従 業 員 数	871名
株 主 数	2,316名
ホームページアドレス	https://www.kaiho-bank.co.jp

CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
経営方針	… P 2
おかげさまで創業70周年、これからも地域とともに	… P 4
トピックス	… P 6
C S R・地域貢献活動	… P 8
業績ハイライト	… P 12
第72期財務諸表 (単体)	… P 14
第72期財務諸表 (連結)	… P 15
役員、株式のご案内	… P 16
かいぎんのネットワーク	… P 17



代表取締役頭取 上地 英由

皆さまには、平素より私ども沖縄海邦銀行をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

当行におきましては、おかげさまで令和元年5月1日をもって創業70周年を迎えることができました。これもひとえにお取引先及び皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、ここに2018年度(72期)の営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いに存じます。

2018年度の国内景気につきましては、輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられるものの、所得から支出への前向きの循環メカニズムが働くもとの、基調としては緩やかに拡大しているほか、個人消費も雇用・所得環境の着実な改善を背景に、振れを伴いながらも緩やかに増加しました。

県内景気については拡大が続いており、観光関連では、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加などにより、2018年度の入域観光客数は999万人を記録し、6年連続で過去最高を更新しました。個人消費については、県内の人口増加、観光需要、県内の雇用・所得環境の改善などを背景に堅調に推移しており、建設関連についても公共工事などで底堅く推移する動きとなりました。雇用面では、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善が続く一方で、多くの企業において人手不足が課題となっています。今後の県内景気についても、国内および海外経済の動向、原材料価格の上昇や労働需給の引き締めりなど、企業の収益やマインドなどに与える影響がリスク要因として考えられますが、引き続き、拡大する可能性が高いとみられています。

金融機関においては、低金利が続く環境下、金融機関の競争激化により、取り巻く環境は厳しさを増しています。地域金融機関として、お客さまの安定した資産形成に資する良質なサービスの提供やお取引先企業の事業性評価などの取組みによる金融仲介機能の発揮という「お客さま本位の持続可能なビジネスモデル」の構築が求められています。

このような環境のもと、当行は2017年4月より、第15次中期経営計画「革新(INNOVATION)」に取り組んでいます。「お客さまのニーズに応えた良質な金融サービスの提供」「安定した経営基盤の確立」「人と組織の強化」の3つの基本方針のもと、お客さまの課題解決に向けたソリューション提供と円滑な資金供給による、お客さま支援に重点を置いたビジネスモデルへの変革により、「お客さまの成長・発展」と「当行の安定した経営基盤の確立」という『共通価値の創造』に取り組めます。

これからも地域に根ざしたより良い金融サービスを提供し、「お客さまのお役にたてる一番身近な銀行」を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2019年6月

第 15 次中期経営計画 (2017 年 4 月～2020 年 3 月)

第 15 次中期経営計画では、「革新 (INNOVATION)」のキャッチフレーズのもと、これまで以上にお客さま支援に重点を置いたビジネスモデルへの変革により、「お客さまの成長・発展」と「当行の安定した経営基盤の確立」という『共通価値の創造』に向けて取り組みます。

キャッチフレーズ

「革新 (INNOVATION)」

当行の目指す姿

「お客さまの
お役にたてる一番身近な銀行」

基本方針・重点施策

5 年後 10 年後を見据え、
持続可能性のある
ビジネスモデルへの変革を図る

I お客さまのニーズに応えた 良質な金融サービスの提供

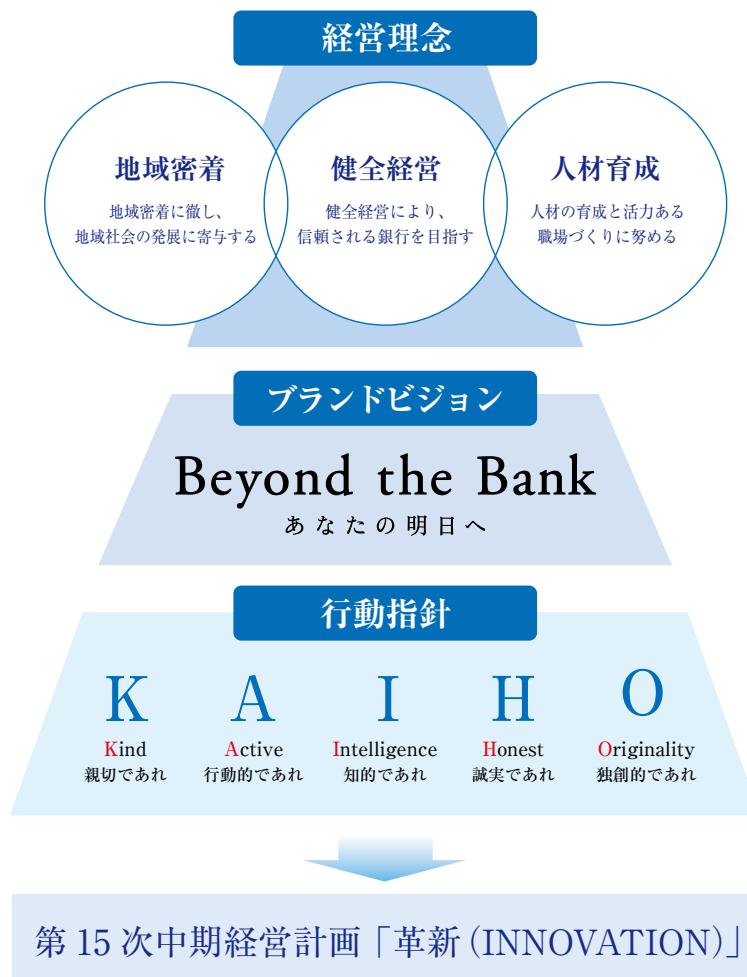
1. 中小企業・小規模事業者への金融仲介機能の発揮
2. 個人のお客さまの利便性向上への取り組み

II 安定した経営基盤の確立

1. 適正な収益確保・安定した収益構造の確立
2. 次期勘定系システム・IT 戦略の取り組み
3. コンプライアンスの徹底・リスク管理の充実

III 人と組織の強化

1. お客さま支援に向けた経営管理・営業態勢の整備
2. 良質な金融サービスの提供に向けた人材育成
3. お客さま重視の取り組みとかいぎんブランドの浸透



おかげさまで創業70周年、これからも地域とともに



おかげさまで創業 70 周年を迎えることができました。

ひとえに皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

沖縄海邦銀行は「お客さまのお役にたてる一番身近な銀行」を目指してまいりますので、今後ともご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1949年5月

沖縄無尽株式会社設立
資本金 100 万B円



那覇無尽株式会社設立
資本金 100 万B円



1972年3月

中央相互銀行から
沖縄相互銀行へ商号変更



1989年 年号を
平成に改元

1972年
商号変更

1964年
合併

1953年11月

沖縄無尽を沖縄相互銀行へ、
那覇無尽を第一相互銀行へ商号変更



1949年
創業

ごあいさつ
経営方針
おかげさまで創業70周年
これからも地域とともに
トピックス
CSR 地域貢献活動
業績ハイライト
第72期
財務諸表(単体)
第72期
財務諸表 連結
役員、株式のご案内
かいぎんの
ネットワーク

2019年5月

新勘定系システム稼働

1990年4月

資本金 45 億 3700 万円に増資

2019年
創業70周年2015年
新本店竣工

2015年11月

新本店ビル竣工

2019年 年号を
令和に改元

1989年2月

相互銀行から普通銀行へ転換
沖縄相互銀行から
沖縄海邦銀行へ商号変更
資本金 23 億円1989年
普銀転換

1964年4月

沖縄相互銀行と第一相互銀行が
合併し中央相互銀行設立
資本金 70 万ドル

沖縄海邦銀行 70年の歩み

トピックス

沖縄大交易会2018への参画

2018年11月29日(木)、30日(金)、沖縄コンベンションセンターにおいて「沖縄大交易会2018」が開催されました。

今回の大交易会では、269社のサプライヤーと272社のバイヤーが一堂に会した国内最大級の商談会となりました。

当行も大交易会の会員企業として参画し、行員を運営スタッフとして派遣しました。



第二回よろず支援拠点活用塾を開催

2019年3月5日(火)、6日(水)、「よろず支援拠点」から総勢8名のコーディネーターを招聘し、「よろず支援拠点活用塾」を開催しました。

2日間で約70社の経営者のみなさまにご参加いただき、売上増加・販路拡大・IT活用・人材育成等に関する様々な経営上の悩みや課題について個別相談会を実施しました。

当行は、外部機関とも連携しながらお客さまの課題解決、経営支援に取り組んでいきます。



かいぎんビジネスセミナー開催

当行では、毎月、「かいぎんビジネスセミナー」を開催しています。新社会人向けの基礎研修から労務管理、税務・経理など、実務的な内容で幅広くテーマを設定しており、ご好評をいただいています。

これからも当行は、お客さまに役立つ情報の提供を続けていきます。



よろず支援拠点普天間サテライト相談会

普天間支店の隣接スペースを活用した、沖縄県よろず支援拠点による「よろず支援拠点普天間サテライト」相談会が開催されています。

「よろず支援拠点」とは、国が設置した中小企業・小規模事業者の様々な悩みに応える相談窓口です。無料で何度でも相談することができ、公的支援機関とも連携しています。

相談会開催日：毎月第2木曜日 9:00～17:00(要予約：1回の相談時間は1時間となります)

開催場所：当行普天間支店

株式会社沖縄債権回収サービスとのM&A仲介業務に関する協定書を締結

2019年2月20日(水)、株式会社沖縄債権回収サービスと「M&A仲介業務に関する協定書」を締結しました。

同社とは2017年に経営改善、事業性評価等で業務提携を結んでおり、様々な経営課題を解決するトータルソリューションの提供を連携して取り組んでいます。

CSR・地域貢献活動

みどりの運動

当行は、40年以上にわたり「みどりの運動」を展開しています。「沖縄をみどりの島に！緑と花で心にやすらぎを！」のキャッチフレーズで、郷土に緑と花を増やし、安らぎのある街づくりに取り組んでいます。

みどりの講演会

毎月、郷土のみどりについて、森林資源や園芸など、多彩なテーマで「みどりの講演会」を開催しています。昭和49年から開催しており、開催回数は500回を超えています。講演会参加者には、苗木の無料配付を行っており、これまで6万本以上を配付しました。

開催場所：沖縄海邦銀行本店

開催日：原則毎月第4金曜日 午後3時より



みどりの募金

役職員からの募金やみどりの運動に賛同してくださったお客さまからの募金を緑化運動として寄付を行っています。これまでの募金総額は1億円を超えています。



育樹活動

2018年11月10日(土)、糸満市の沖縄県平和創造の森公園内に造成された「かいぎん平和の森」において第2回目の育樹祭を開催しました。

2018年11月23日(金)、糸満市のサザンビーチホテル南側緑地にて開催された「平成30年度緑の育樹祭」(沖縄県緑化推進委員会・糸満市共催)に参加しました。



「チーム美らサンゴ」への参加

2005年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴの保全活動に取り組んでいます。
2018年10月13日(土)、恩納村万座ビーチ沖合にて行われたサンゴ植え付け活動に当行行員も参加しました。



児童養護施設等への寄付金贈呈

2019年3月28日(木)、創業70周年を記念して児童養護施設等、子どもの支援に携わる10団体へ寄付金700万円を贈呈しました。



CSR・地域貢献活動

海邦銀行ジュニアサッカーフェスティバルを開催

2018年11月4日(日)、中城村吉の浦公園ごさまる陸上競技場にて「海邦銀行ジュニアサッカーフェスティバル」を開催しました。多くの小学生が参加し、海邦銀行サッカークラブの選手によるサッカー指導も行われ大いに盛り上がりました。



メサイア演奏会への協賛

2018年11月30日(金)、第46回メサイア演奏実行委員会へ特別協賛金100万円を贈呈しました。「音楽を志す者の社会への奉仕と音楽文化の向上を目指し、広く県民へ鑑賞の場を提供する」との趣旨に賛同し、今回で27回目の協賛金贈呈となります。



NAHAマラソンへボランティア参加

2018年12月2日(日)、第34回NAHAマラソンが開催され、当行役職員もボランティアとして参加しました。沿道での給水作業や交通整理のお手伝いを行いました。



かいぎんミュージックサークル

2018年12月16日(日)、「子どもたちに楽しいクリスマス」をテーマにかいぎんミュージックサークルによるチャリティーコンサートを開催しました。毎年12月のクリスマス前に開催し、今回で6回目となるこのコンサートで、チケット売上金の全額を医療的ケアを必要とする子どもたちの団体へ寄付しました。



小禄中学校で寄付講座を開催

2019年1月16日(水)、小禄中学校において寄付講座を開催しました。講座では、職場体験のための事前学習として「銀行の仕事内容」について講義し、多くの学生が参加しました。



沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会

2019年3月2日(土)、3(日)、第26回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会が開催されました。スポーツ振興を通じて地域振興、青少年の健全な育成を目的として、協賛金50万円を贈呈しました。



業績ハイライト

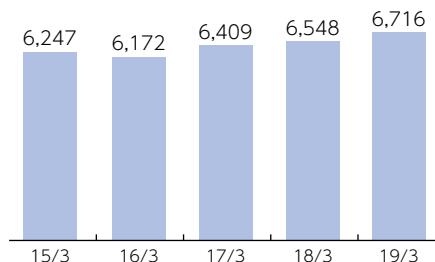
預金

6,716億円

預金残高は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことにより、前年比167億22百万円増加の6,716億18百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



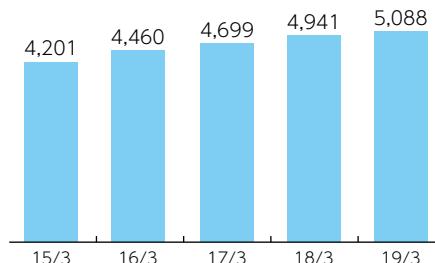
貸出金

5,088億円

貸出金残高は、不動産業や建設業などの事業性貸出が増加したほか、地公体貸出も増加したことなどから、前年比147億70百万円増加の5,088億94百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



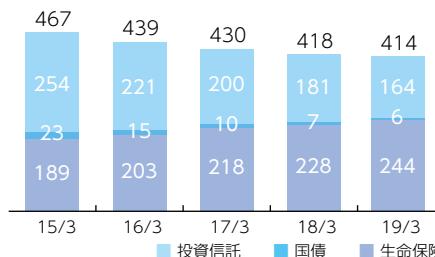
預かり資産

414億円

預かり資産残高は、生命保険は終身保険販売が好調に推移したことなどから増加しましたが、投資信託および国債の残高は減少しました。その結果、預かり資産残高は、前年比3億63百万円減少の414億56百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

経常利益

34億円

当期純利益

23億円

経常利益は、貸出金利息や株式等売却益、貸倒引当金戻入益の増加などにより、前年比15億47百万円増加の34億8百万円となりました。当期純利益は、前年比10億3百万円増加の23億10百万円となりました。経常利益、当期純利益ともに過去最高益となりました。

コア業務純益

14億円

コア業務純益は、役務取引等利益は減少したものの、貸出金利息の増加や預金利息の減少などによる資金利益の増加や経費の減少などによって、前年比2億48百万円増加の14億83百万円となりました。

自己資本比率

8.27%

自己資本比率は、利益を積み上げましたが、貸出金が増加したことから前年比0.09ポイント低下の8.27%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

用語解説

■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」など、一時的な要因を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

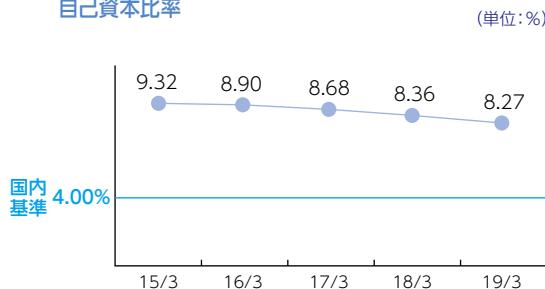
経常利益・当期純利益



コア業務純益



自己資本比率



第72期財務諸表(単体)

■ 貸借対照表 (2019年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	63,980
コールローン	-
有価証券	125,830
貸出金	508,894
外国為替	794
その他資産	12,339
有形固定資産	9,310
無形固定資産	1,767
前払年金費用	314
支払承諾見返	2,506
貸倒引当金	△ 2,207
資産の部合計	723,529
(負債の部)	
預金	671,618
その他負債	2,780
賞与引当金	483
退職給付引当金	656
役員退職慰労引当金	166
睡眠預金払戻損失引当金	56
偶発損失引当金	75
繰延税金負債	821
支払承諾	2,506
負債の部合計	679,164
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	32,215
自己株式	△ 24
株主資本合計	39,948
その他有価証券評価差額金	4,417
評価・換算差額等合計	4,417
純資産の部合計	44,365
負債及び純資産の部合計	723,529

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	14,454
資金運用収益	10,757
うち貸出金利息	9,735
うち有価証券利息配当金	986
役員取引等収益	1,226
その他業務収益	149
その他経常収益	2,320
経常費用	11,046
資金調達費用	215
うち預金利息	232
役員取引等費用	1,275
その他業務費用	41
営業経費	8,989
その他経常費用	523
経常利益	3,408
特別利益	17
固定資産処分益	17
特別損失	213
固定資産処分損	2
減損損失	211
税引前当期純利益	3,211
法人税、住民税及び事業税	869
法人税等調整額	31
法人税等合計	900
当期純利益	2,310

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表 (2019年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	63,980
コールローン及び買入手形	-
有価証券	125,745
貸出金	508,894
外国為替	794
その他資産	12,405
有形固定資産	9,311
無形固定資産	1,768
退職給付に係る資産	556
繰延税金資産	1
支払承諾見返	2,506
貸倒引当金	△ 2,207
資産の部合計	723,756
(負債の部)	
預金	671,492
その他負債	2,782
賞与引当金	486
退職給付に係る負債	665
役員退職慰労引当金	166
睡眠預金払戻損失引当金	56
利息返還損失引当金	12
偶発損失引当金	75
繰延税金負債	891
支払承諾	2,506
負債の部合計	679,135
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	32,276
自己株式	△ 24
株主資本合計	40,008
その他の有価証券評価差額金	4,417
退職給付に係る調整累計額	163
その他の包括利益累計額合計	4,581
非支配株主持分	31
純資産の部合計	44,621
負債及び純資産の部合計	723,756

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	
資金運用収益	10,757
うち貸出金利息	9,735
うち有価証券利息配当金	986
役員取引等収益	1,312
その他業務収益	149
その他経常収益	2,313
経常費用	11,114
資金調達費用	215
うち預金利息	232
役員取引等費用	1,276
その他業務費用	41
営業経費	9,000
その他経常費用	580
経常利益	3,418
特別利益	
固定資産処分益	17
特別損失	213
固定資産処分損	2
減損損失	211
税金等調整前当期純利益	3,221
法人税・住民税及び事業税	873
法人税等調整額	31
法人税等合計	904
当期純利益	2,316
非支配株主に帰属する当期純利益	2
親会社株主に帰属する当期純利益	2,314

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結包括利益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
当期純利益	2,316
その他の包括利益	△ 442
その他の有価証券評価差額金	△ 374
退職給付に係る調整額	△ 67
包括利益	1,874
親会社株主に係る包括利益	1,872
非支配株主に係る包括利益	2

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役頭取	うえ	ち	えい	ゆう
	上	地	英	由
代表取締役専務	こう	げ	ひで	お
	幸	家	秀	男
常務取締役	あら	かき		じゅん
	新	垣		淳
取締役	こ	じょう	せい	いちろう
	湖	城	誠	一郎
取締役	たかみや	ぎ		つよし
	高宮	城		毅
取締役	さき	はら	まさ	き
	崎	原	正	樹
取締役	しん	じょう	かず	ふみ
	新	城	一	史
取締役	あら	かき		まなぶ
	新	垣		学
取締役	ひ	が	り	か
	比	嘉	梨	香
常勤監査役	かね	しろ	けん	ゆう
	兼	城	賢	雄
監査役	か	で	よし	お
	嘉	手	義	男
監査役	おお	みね		みつる
	大	嶺		満

(注)取締役 比嘉 梨香は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

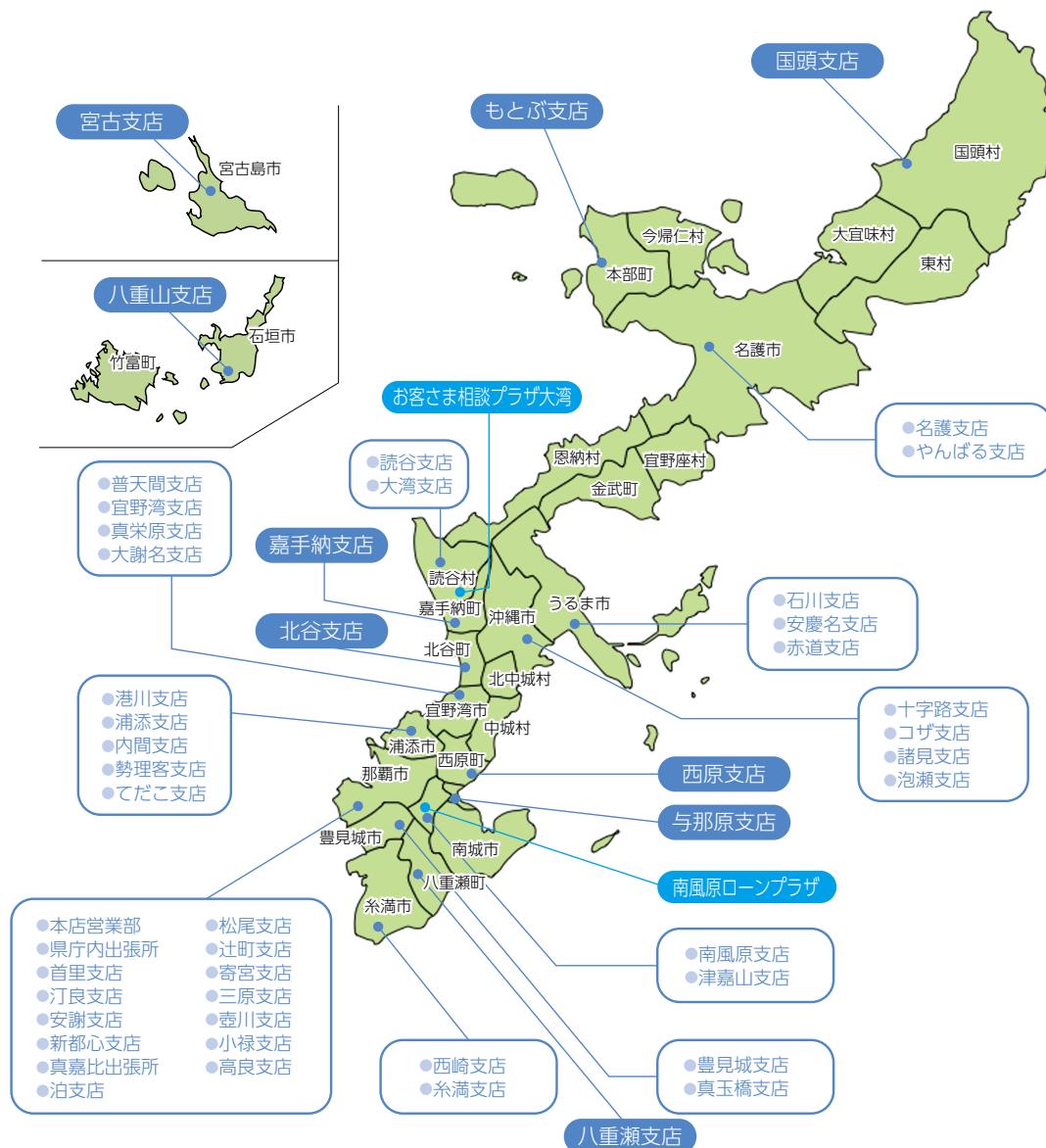
(注)監査役 嘉手苺 義男及び監査役 大嶺 満は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式のご案内 (2019年3月31日現在)

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配当金支払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円

かいぎんのネットワーク (2019年3月末現在)

50 店舗 (うち出張所 2 店舗) 2 プラザ



南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

お客さま相談プラザ大湾：☎0120-61-8560

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

2019年6月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 TEL098-867-2112

Beyond the Bank

あなたの明日へ



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。